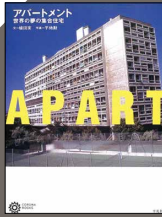


# オススメ本の紹介



## アパート —世界の夢の 集合住宅

植田 実、平地 勲 著/  
平凡社

世界の有名な集合住宅が紹介された本です。築後30年から古いものでは100年以上も経っている18事例が取り上げられていますが、古くさは全くなく、住み手が非常に魅力的に住みこなししている姿に、住まいの本質を感じます。最小限の解説文とたくさんの写真で説明されていますので、写真集としても楽しめます。

建築工学科  
福田 由美子 先生



## 喜嶋先生の静かな 世界 —The Silent World of Dr.Kishima

森 博嗣 著/  
講談社

工学系の大学に通う主人公が、大学・大学院で過ごしていく様子を描いた小説です。高校と大学はどう違うのか、研究とはどういうことか、研究者は何に取り組んでいるのか、など、大学での「研究」という一面を、鋭く描いています。研究している学生はもちろん、配属前の学生にも手にとってもらいたい作品です。

知的情報システム学科  
井上 和重 先生

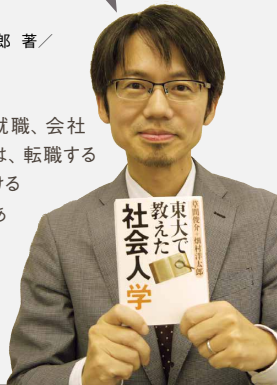


## 東大で教えた 社会人学

草間 俊介、畑村 洋太郎 著/  
文藝春秋

働くことの意味と就職、会社とはサラリーマンとは、転職するか起業するか、結婚するか子供をもうけるのか、人生とお金など工学系大学生である皆さんが今後遭遇するであろう事柄とそのリスクについて考えることができる本です。自分の学生時代にもこんな本があれば…。

地球環境学科  
小西 智久 先生



## 聞く力 一心を ひらく35のヒント

阿川 佐和子 著/  
文藝春秋

誰でもできる会話術の本です。最近の学生はコミュニケーション能力が低いと言われており、世間では上手な話し方のポイント等がネットで拡散しています。しかし、必要なことはまず「聞く」ことが会話するという行動のスタートです。本書では聞く姿勢が重要で例えば相手の気持ちを推し測るなど会話術の極意を教えてください。

生体医工学科  
竹内 道広 先生



## ビブリオバトル —本を知り人を知る 書評ゲーム

谷口 忠大 著/  
文藝春秋

平成27年度から本学でも開催しているビブリオバトル。その魅力は何か、どうやって誕生したかなどが書かれているのがこの本です。本の数の膨大さを考えれば自分にとって本当に有意義な本に出会うのは奇跡といえるかもしれません。機械的な検索操作ではなく人を通して出会う本の中にこそ、そんな奇跡的出会いがありそうです。

附属図書館  
森保 信吾



## 遅読家のための読書術 —情報洪水でも疲れない 「フロー・リーディング」の習慣

印南 教史 著/  
ダイヤモンド社

「読書」に対する抵抗感を消す! どんな人にも「1日1冊ペースの読書」を叶える1冊です。本を読むのが遅い、積読ばかり溜まる…いま「本が読めない人」が増えています。(図書館員ですが、私もその1人でした) この本はそんな人たちへの救済の書です。本を読まない人生よりも、本を読む人生の方がはるかに楽しいと思っています。

附属図書館  
日高 綾乃

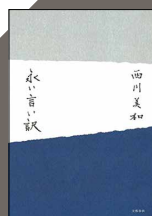


## 世界から猫が 消えたなら

川村 元気 著/  
マガジンハウス

当たり前にあるもの。側にいてくれるひと。好きなもの。その“存在”こそが、いかに大切かを実感できます。それは、初めて知る知識や経験も同じです。関わる人や懸ける時間が糧となり、自分自身を形成させ、高めます。悩む時や見つめ直したい時に、この1冊を手にとってみてください。きっと大切な何かに気づけるはずです。

附属図書館  
杉浦 英里香



## 永い言い訳

西川 美和 著/  
文藝春秋

妻が事故死しても悲しめずにいた作家が、同じ境遇の家族と出会い立ち直っていく話です。何気なく毎日過ごすのではなく、大切な人とちゃんと向き合っていこう。楽な方に流されず、少しだけ面倒な方を選んでみよう。大事な事が見えてくるかも……。あなたは言い訳しない生き方、していますか？

附属図書館  
竹内 由美

